

## 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ビーイングホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9145 URL <https://being-group.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 甚一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 松木 正康 TEL 076-268-1110  
 配当支払開始予定日 一  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第3四半期の連結業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2025年12月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	24,565	10.7	1,740	16.9	1,753	16.4	1,054	15.8
	22,178	16.2	1,488	19.7	1,505	20.0	910	24.2

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 1,209百万円 (19.3%) 2024年12月期第3四半期 1,013百万円 (22.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	43.76	—
2024年12月期第3四半期	38.18	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年12月期第3四半期	百万円 18,849	百万円 8,283	% 41.3
2024年12月期	18,222	7,498	38.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 7,802百万円 2024年12月期 7,103百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 44.00	円 銭 44.00
2025年12月期	—	18.00	—		
2025年12月期(予想)				7.50	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の期末予想配当については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。年間の配当金額については、株式分割の実施により単純比較ができないため表示しておりません。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	33,300	10.3	2,500	11.4	2,500	10.7	1,500	9.1
							円 銭	62.24

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮し算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	24,100,000株	2024年12月期	24,100,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	740株	2024年12月期	604株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	24,099,288株	2024年12月期 3 Q	23,850,341株

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その業績を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済状況としては、雇用・所得の改善を背景に個人消費が持ち直し、インバウンド需要も堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調を維持しております。一方で、資源・エネルギー価格の高止まりや、米国の関税政策をはじめとする各国の経済政策の影響により、為替相場は依然として不安定な動きを見せており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

物流業界においては、物流の2024年問題による時間外労働の規制や人口減少による人手不足の影響から物流業者の倒産は過去最多となっており、物流業界のM&AやT O Bなどによる物流再編の動きが活発化しております。また、資源エネルギーの高騰、賃金ベースアップ、時間外労働時間の規制による外部委託費用の値上げなどの影響によって物流コストが上昇していることに加え、ドライバー不足や労働時間規制により、従来の運用のままでは配達出来ない事態が訪れることが懸念されております。

このような社会情勢の下、当社グループは、クリーンエネルギーへの転換、従業員の賃金の見直し、2024年問題に係るドライバーの時間外労働時間の改善を図るとともに、「生活物資に特化した物流への経営資源の集中投資」「関東から全国への展開を見据えた物流基盤の構築」「量の拡大と質の変革による長期成長イメージ」の3つを成長戦略とし、業務に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、自社保有の物流センターへの太陽光パネルの設置やCO<sub>2</sub>を排出せずに発電された電力の調達を行い、再生可能エネルギーの活用を進めております。また、自社開発システム「Jobs」でこれまで蓄積した物流センターにおける物流情報とAIによる物量予測を活用し、既存センターの業務の見直し及び適正人員の配置を進めております。

前年稼働拠点や既存拠点で獲得した新規業務は安定稼働しており、既存業務と併せて堅調に事業を拡大しております。3月には「野田センター」、「金沢鞍月センター」、4月には「富山SCMセンター」、「金沢海浜センター」、6月には「三重低温センター」、「富谷DC」「常総DC」「芳賀DC」「伊勢崎DC」、8月には「厚木猿ヶ島センター」、9月には「福島DC」を開設しております。また、9月には取扱業務の拡大に対応するため「東海SCMセンター」を移転しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、営業収益24,565百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益1,740百万円（前年同期比16.9%増）、経常利益1,753百万円（前年同期比16.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,054百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

なお、当社グループは「物流事業」を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,060百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,161百万円減少したことによるものであります。固定資産は11,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,687百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が295百万円減少した一方で土地が1,297百万円、建物及び構築物が413百万円及びリース資産が149百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は18,849百万円となり、前連結会計年度末に比べ626百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,056百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,411百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が146百万円増加した一方で短期借入金が500百万円、その他流動負債が448百万円、未払法人税等が298百万円及び営業未払金が263百万円減少したことによるものであります。固定負債は5,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,253百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が1,046百万円及びリース債務が188百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は10,566百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,283百万円となり、前連結会計年度末に比べ784百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が681百万円及び非支配株主持分が85百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.3%（前連結会計年度末は38.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月13日の「2024年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、現在の連結業績予想の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,951	3,789
営業未収入金	3,558	3,550
その他	187	295
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	8,676	7,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,701	5,115
機械装置及び運搬具（純額）	405	448
土地	2,651	3,948
リース資産（純額）	743	893
建設仮勘定	379	83
その他（純額）	17	20
有形固定資産合計	8,898	10,510
無形固定資産	21	14
投資その他の資産	626	708
固定資産合計	9,546	11,233
資産合計	18,222	18,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
営業未払金	1,922	1,659
短期借入金	1,000	500
1年内返済予定の長期借入金	664	811
リース債務	274	338
未払費用	1,085	973
未払法人税等	506	208
その他	1,012	564
流動負債合計	6,467	5,056
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,443	4,490
リース債務	559	747
退職給付に係る負債	84	92
その他	169	180
固定負債合計	4,256	5,510
<b>負債合計</b>	<b>10,724</b>	<b>10,566</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	696	696
資本剰余金	648	648
利益剰余金	5,727	6,408
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,071	7,753
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	31	49
その他の包括利益累計額合計	31	49
<b>非支配株主持分</b>		
<b>純資産合計</b>	<b>7,498</b>	<b>8,283</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,222</b>	<b>18,849</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
営業収益	22,178	24,565
営業原価	19,691	21,738
営業総利益	2,487	2,826
販売費及び一般管理費	999	1,086
営業利益	1,488	1,740
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	6
受取保険金	9	29
助成金収入	32	13
その他	8	14
営業外収益合計	54	63
営業外費用		
支払利息	25	45
シンジケートローン手数料	10	2
その他	2	2
営業外費用合計	37	50
経常利益	1,505	1,753
特別利益		
固定資産売却益	3	9
特別利益合計	3	9
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	12
特別損失合計	0	12
税金等調整前四半期純利益	1,508	1,750
法人税等	496	559
四半期純利益	1,011	1,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	136
親会社株主に帰属する四半期純利益	910	1,054

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	1,011	1,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	18
その他の包括利益合計	1	18
四半期包括利益	1,013	1,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	912	1,072
非支配株主に係る四半期包括利益	101	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	529百万円	554百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

当社グループは「物流事業」及び「その他」の事業を営んでおりますが、「その他」の各事業セグメントの営業収益、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業セグメントの合計額の10%未満であり、報告セグメントが1つであるため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

当社グループは「物流事業」及び「その他」の事業を営んでおりますが、「その他」の各事業セグメントの営業収益、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業セグメントの合計額の10%未満であり、報告セグメントが1つであるため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2025年8月14日開催の取締役会に基づき、2025年10月1日付で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行いました。

(1) 株式分割の目的

株式分割により当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2025年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき4株の割合をもって分割いたしました。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	6,025,000株
株式分割により増加する株式数	18,075,000株
株式分割後の発行済株式総数	24,100,000株
株式分割後の発行可能株式総数	64,000,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2025年9月16日
基準日	2025年9月30日
効力発生日	2025年10月1日

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり四半期純利益	38円18銭	43円76銭
潜在株式調整後	—	—
1株当たり当期純利益	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2025年10月1日をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたしました。

② 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当会社の発行可能株式総数は、 <u>16,000,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当会社の発行可能株式総数は、 <u>64,000,000株</u> とする。

③ 定款変更の日程

効力発生日 2025年10月1日

(4) その他

① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。